



武中三大行事の文化祭を終えて



校長 橋口 克朗

「校長先生、今日の文化祭の講評をお願いします。」と閉会で、文化祭会場の体育館に司会の生徒の声が響きました。私は、全校生徒を前にして、次のような話をしました。(話の内容の抜粋です。)

みなさん、今日の文化祭どうでしたか。1年生は、中学校に入ってから初めての、2年生は2回目、3年生は最後の文化祭でした。「みんなで創る文化祭」。開会での生徒代表の3年生の安庭さんが「感動のある文化祭にしよう！」とあいさつしました。全てのプログラムを終えて、私も皆さんからいっぱい感動をもらいました。ありがとうございます。

特に舞台発表は、灯台に例えられることがあります。灯台の光を放つ部分は、舞台で演じる人。灯台の土台の部分は、いわゆる裏方として照明係であったり、道具係、BGM係などです。それぞれが、自分の役割をしつかり果たすことで、立派な光を放つことができます。つまりいい劇にすることができると。

1年生の劇。「見よ、勇者は帰る」。明治維新百五十年にちなんだストーリーで、いろいろなシーンに工夫が見られました。奄美での愛加那さんのシーンや西郷さんと大久保さんの新政府に向けたやりとりのシーンなど。また、新政府は気合いが入っていました。ラストの、創作ダンスも、会場全体を釘付けにするとも見応えのあるものでした。そして、幕末の歴史をよく調べて演じましたね。百五十年前にタイムスリップしたような錯覚を覚え、私も途中で、涙が出そうになりました。1年生の皆さん、感動をありがとう。

2年生の劇。「平和に生きる」。幕が開くと同時に、威勢のよいかけ声。「相撲体操」は体育大会も素晴らしいかけ声ですが、それ以上に、今日の演技は、一つ一つの所作が一層



【示現流の演技】

光っておりました。平和研究班が活躍していただきました。広島への修学旅行で実際に見てきた原爆の恐ろしさ、そして、平和な世の中への思いが、平和な世界を守りたい。思いがストーリーの根底に流れていました。「♪青い空は、青いままで伝えたい」。平和への気持ちの入った歌声。また、20歳で特攻兵として飛び立つ若者を演じたことでもそのそよ風の気持ちが少しも分かったかも知れません。創作ダンスも皆の息が合っていました。

「憲法」君、長い台詞をよく覚えてましたね。「食べ物食べられる幸せ、ゆつくり寝られる幸せ」、「人を傷つけることをしない。命は一つしかない。たった一つの命を大切にしたい。たっ」という言葉も印象的でした。そして、ラストでの全員合唱。2年生の皆さん、感動をありがとう。

3年生の劇。「国盗り物語」。演劇コンクールに出してみたいと思わせる劇でした。一人一人が役者になりきり、演技が素晴らしいでした。生徒会長選挙を通して「よりよい学校とは。」「よりよい生徒会にするには。」ということに私たちが問いかけるストーリーでした。各シーンを観ながら、その後、どう展開していくのかワクワクしました。幕の表や舞台の左右、フロアーなどを照明をうまく使って場面の切り替えを行っていましたね。舞台演出が工夫されており、さすが3年生と思えました。

応援の演技も見応えがありました。そして、アカペラによる合唱「たしかなこと」。私は、目を閉じて聞きました。透き通るような歌声が心の中にスーッと入ってきました。3年生の皆さん、感動をありがとう。



【アカペラの合唱】



【劇の1シーン】



【劇中の合唱】



【平和研究班】

それから、英語スピーチ。3年生のFさん、2年生のM君とMさん。かねての英語の学習が生かされたとても素晴らしい発表でした。

そして、フィナーレの吹奏楽部演奏。さすが「夏の祭典金賞」の素晴らしい演奏でした。一つ一つの曲を聴いていると、演奏している吹奏楽部の皆さんの気持ちが私たちに伝わってくるような気がしました。ありがとうございます。



【吹奏楽部演奏】

一方、「展示の部」にも、皆さんの頑張りを多く見ることができました。各学年のテーマは1年生「明治維新」、2年生「アート作品『平和に生きる』・修学旅行新聞」、3年生のモザイクアート。そして、総合学級、国語科、社会科、理科、美術科、家庭科、技術科の作品は、それぞれの学年・教科の特色が表れていました。美術部の照国神社六月燈に出した作品も、さすが美術部を感じさせました。「みんなが創る文化祭」武中の皆さんは、限りない可能性を持っています。やればできる力を持っています。今回の経験をこれからの勉強や生活に生かしましょう。一緒に頑張った友達、指導していただいた先生へ皆で拍手を贈りましょう。「拍手！」(全員で拍手)

【展示の部から】



